

令和元年度 第1回 エルシーブイ放送番組審議会 議事録

■開催日時 令和元年6月21日(金) 午後1時30分～午後3時00分

■場 所 エルシーブイ株式会社 本社1階会議室

■出席者 委員総数 5名

出席委員 (5名)

市川 純章 委員

河西 滋子 委員

杉本 研一 委員

井上 淳哉 委員

菊池 大介 委員

放送事業者側 (4名)

大野 揚史 専務取締役

佐久 章展 放送制作部長

吉澤 忠秀 放送制作部 報道課

原田 久美子 事務局

■議 事

1. 審議事項

【審議番組】 『新成人による日本酒造り「オレサケ」プロジェクト』

<委員からの主な意見>

□評価意見

- ・この素材をテーマとして取り上げたことを高く評価したい。「地域創生」という言葉にぴったりの番組で、エルシーブイらしさが出ていた。
- ・出演者のコメント中心で、ナレーションで誘導する手法を使わず作為的な盛り上げをしていないので、上品な仕上がりに感じた。
- ・出演している人たちの表情が自然だった。数か月に渡る取材の中でのコミュニケーションの成果か。
- ・出演者がカメラを意識しているようなわざとらしさを感じない。若者らしい照れなどもなく、コメント一つ一つが良い。作りの工夫や、何回も通って溶け込んでいったこと、アンテナを張り遭遇した現場に入っていたことなど、地域密着ならではのと思う。
- ・5分のニュース特集をつなげて再編集したということで、ツギハギと感ずるところも少しあったが、それでも見応えがあった。
- ・全て一人でこなしたにしてはグレードが高かった。
- ・リアル感、ライブ感が面白かった。あと味も良かった。
- ・臨場感が出ていて良かった。
- ・町おこしの番組では全部は見せないところが多い中で、よくここまで取材させてくれたと思う。
- ・構成がきちんとしていた。
- ・杜氏の方の説明の熱意が感じられたし、5人の若者のうちキーマンと思われたのが女性で、女性の時代だと思った。

□指摘意見

- ・ニュース内の特集コーナーでの放送が、取材時ごとではなく、後日5分ずつ5回に分けて放送したということだが、ならば最初から27分枠の特集番組だけで作ったほうがよい作品になったのではないか。
- ・報道としては伝わったが、特集番組としては若い人たちが27分間見続けてくれるのかなと思ってしまった。新成人たちのパーソナルな部分も見えてくれば、同世代にも感情移入して見てもらえるのでは。
- ・番組のテーマがない。シリーズの再構成ということだが再構成になっていない。報道とは違い、「特集」にはテーマが重要である。5回シリーズの1回ごとではよくても、事実を並べるだけでは27分間見続けるのはつらい。
- ・酒造りに注目したわけでも、若者たちに注目したわけでもない。社長の思いもストーリーにつながっていない。若者たちの真剣な考えや、苦労のプロセスがわからず酒が完成しても感動もない。酒造りの方法の紹介などより、プロジェクトの発案者もしくは若者たちにフォーカスすべきだった。
- ・特集番組の場合、ある程度テーマのパターンを決めて取材に入ってもいいのでは。

- ・オープニングで企画の趣旨を語る社長の現場の音声を使っていたが、明確な意図が伝わってこなかった。本人の声は熱意や重要な発言を伝えるなら効果的だが、すべてが現場音でいいということではなく、逆に印象が悪くなる。
- ・手ブレ、ピントの甘さが感じ取れた。一人でやっているにしても、本編に集中してもらうための工夫がほしかった。
- ・酒蔵での撮影は一人では技術的に難しい。逆に押さえるべきところを決めれば、なくてもよいところを捨てることができると思う。
- ・仕込みの場面で、他社のカメラのフラッシュの点滅が映っていたのが、見づらく気になった。
- ・カメラのフラッシュが多かたかれる映像から、独自取材ではなくメディア取材に公開された映像だという印象を持ってしまった。
- ・冒頭の社長のお話の場面にノイズが入っていた。その後はきちんとしていただけに、非常に残念だった。
- ・今までになくその都度丁寧な説明文があったが、出演者の名前によみがながあればなおよかった。
- ・お酒の種類の分類も一覧で見せてくれたらよかった。ニュースの中ではできないことも、再編集の番組中でならできたのでは。
- ・杜氏によるお酒造りの順序の説明があってわかり易いと思ったが、米を削りそれを洗米するということについてもう少し丁寧な説明があればよかった。
- ・米を入れる前にタンクの中に水が入っているのが見えたのが気になった。一言説明を加えるか、いっそのこと映さなければよかった。
- ・瓶のラベルの書についても触れてほしかった。
- ・にごり酒と清酒が紹介されたが、お店に出回るのが清酒だけなら、にごり酒は出さなければよかった。

2. その他

- ・ニュース+アイで、女性のアナウンサーがピンマイクを付けたときに、襟が落ちてしまいだらしなく感じることもある。落ちないように工夫してほしい。
- ・ネットde動画をよく使っている。見たい時に見られるいいコンテンツだと思うが、今後これをどう収益につなげていくかがこれからの課題。
- ・ネットde動画でよく見られている動画があると思うが、それらはテレビ番組制作の参考になるのでは。
- ・加入者向けサービスとは別の有料コンテンツとしても考えることができる。
- ・テレビの前にいる時間が短くなった。見たいものは探して見る時代で、インターネットからテレビに視聴者を戻すのは、テレビの力だけでは難しい。いいものを作っても見てもらえないのではそれまでなので、見ってもらう工夫も必要。